

れいはいはさいこうのしゅくぶ

まいにち
れいはいは

わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう

エステルが あらかじめ みた こと

この人たちは、婦人^{ふじん}たちや
イエスの母^{はは}マリヤ、および
イエスの兄弟^{きょうだい}たちとともに、
みな心^{こころ}を合わせ、
祈^{いの}りに専念^{せんねん}していた。
(使徒^{しと}1:14)

いのり _____ しかいしゃ
しとしんじょう _____ みんなで
さんび _____ しんさんびか 383 ばん (きゅう 433) 「たすけをもとめて」ゆめのじつげん(2020 ねんこどもさんび)
せいしよ _____ エステル 2:10

エステル 2:10 エステルは自分の民族^{じぶん}をも、自分の生まれ^うれをも明^あかさなかつた。モルデカイが、明^あかしてはならな
いと彼女^{かのじよ}に命^{めい}じておいたからである。

みことば _____ エステルが あらかじめ みた こと _____ しかいしゃ

ペルシヤの王^{おう}アハシュエロスが、自分^{じぶん}と国^{くに}の強^{つよ}い力^{ちから}をほこるために、人々^{ひとびと}を招待^{しょうたい}して
宴会^{えんかい}を開^{ひら}きました。うぬぼれていたアハシュエロス王^{おう}は、自分^{じぶん}の王妃^{おうひ}がどれほど美^{うつく}しいかを
誇^{ほこ}りたくなって、ワシュティ王妃^{おうひ}を宴会^{えんかい}に呼^よんだのですが、ワシュティ王妃^{おうひ}は、その命^{めい}令^{れい}を
拒^{きよ}否^ひしました。腹^{はら}をたてたアハシュエロス王^{おう}は、その場^ばでワシュティ王妃^{おうひ}を追^おい出^だしました。
そして、そのあつ、新^{あたら}しい王妃^{おうひ}を迎^{むか}えたのですが、それがユダヤ人^{じん}のエステルでした。

ある日^ひ、総^{そう}理^りだつたハマンが、自分^{じぶん}にひざをかがめてひれ伏^ふさないモルデカイを憎^{にく}んで
ユダヤ人^{じん}をみな殺^{ころ}そうと、悪^{わる}い計^{けい}画^{かく}をたてました。そのとき、エステルは、自分^{じぶん}を王妃^{おうひ}の
座^ざに着^つかせてくださった神^{かみ}様^{さま}の計^{けい}画^{かく}を悟^{さと}りました。それゆえ、死^しも恐^{おそ}れないで、王^{おう}の前^{まえ}に
出^でて行^いって、その事^じ実^{じつ}を知らせました。こうして、ユダヤ人^{じん}を救^{すく}うことができたのです。

「プリムの日^ひ」は、その日^ひを覚^{おぼ}えるために作^{つく}られた祭^{まつ}りです。
問^{もん}題^{だい}の中^{なか}で私^{わたし}にある神^{かみ}様^{さま}の計^{けい}画^{かく}を悟^{さと}るとき、福^{ふく}音^{いん}によつて多^{おほ}くの人^{ひと}を生^いかすようになりま
す。きょうも、問^{もん}題^{だい}の中^{なか}に隠^{かく}れている神^{かみ}様^{さま}の計^{けい}画^{かく}はなにかを質^{しつもん}問^{もん}しましよ。

いのり _____ いっしょに おおきなこえで
いのりましよう

かみさま、ありがとうございます！ イエス・キリストを とおして わたしたちを すくつて
くださり、かみのこどもに して、 ぜんせかい 237 かこくを いかす じたいてきな しめいを
くださったことを しりました。いまは この しめいを はたすよう せいれいの みたしを
まいにち あじわいますように。 いきておられる イエス・キリストの みなによつて
おいのりします。アーメン

しゅのいのり _____ いっしょに しゅのいのりを いのつて れいはいを おえましよう
フォーラム _____ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましよ



まいにち
✓ チェックしよ げつよう かよう すいよう もくよう きんよう どのよう



133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。



あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

エステルは

じぶんの みんなぞくをも、

じぶんの うまれをも

あかさなかつた。

モルデカイが、

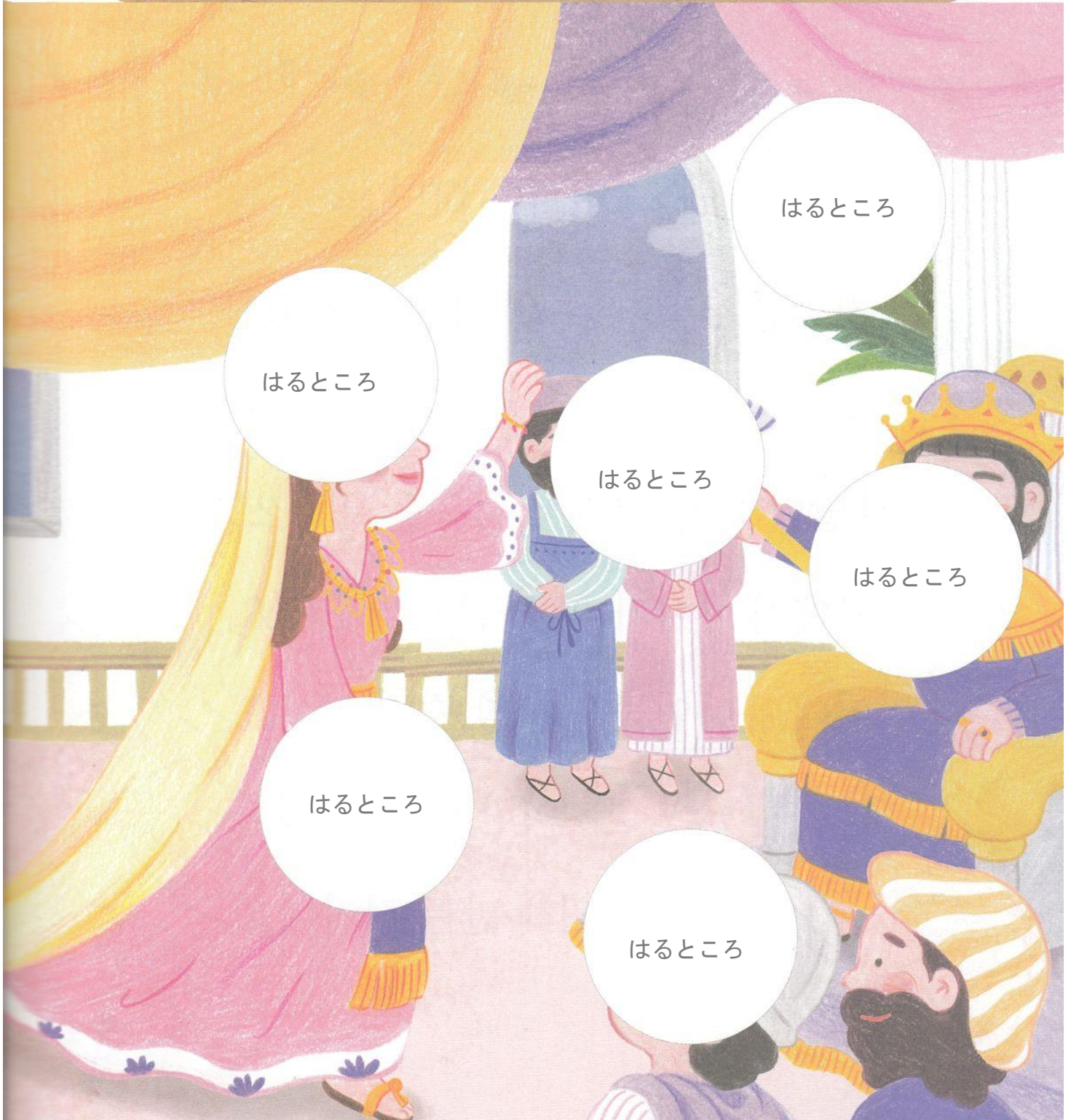
あかしては ならないと

かのじょに めいじておいた

からである。

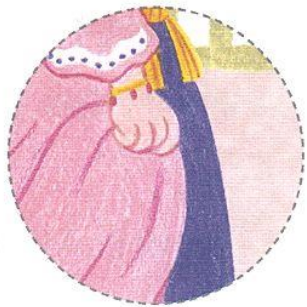
おうひに なった エステルは けいやくを つたえる ための
かみさまの とくべつな けいかくを しりました。
したの おうひ エステルの えの あいている ところに
あう えを つぎの ページから きって はりましょう。

じゅんぴする もの： はさみ のり つぎのページ





はさみで きりましょう



かくしんの ないようを ころろに きざみましょう

きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで じゅうような たんごを
なぞって かきましょう。

03

すいようび

そのとき、**エステル** は、

じぶんを **おうひ** の ぎに つかせて

くださった **かみさまの けいかく** を

さとりしました。それゆえ、しも おそれないで、

おうの まえに でていって、

その じじつを しらせました。

こうして、ユダヤじんを すくうことが

できたのです。「**プリムのひ**」は、

そのひを **おぼえる** ために つくられた

まつりです。



さがして いろをぬろう

どこ？

かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

04

もくようび

わたしたちが いちにちを すごす なかで たいけんする よいこと
かなしいこと いやなこと うれしいこと すべて かみさまの けいかくの
なかで おきている けいやくの りよていです。 その すべてを
すべおさめて おられる かみさまの あいを かんがえながら したの
えに いろを ぬりましょう。



ひょうげんしょう

ひそひそ

パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

05

きんようび

ユダヤじんが たいけんした おおきな くるしみのように
わたしたちも おおきな ききや もんだいに あうことが あります。
そのとき わたしたちは どのように かんがえれば よいのでしょうか。
また どうすれば よいのでしょうか。 かぞくと いっしょに はなしを
して えか じで ひょうげんしましょう。



ワーク

パッパ
パッパ

たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
ここに きざみましょう

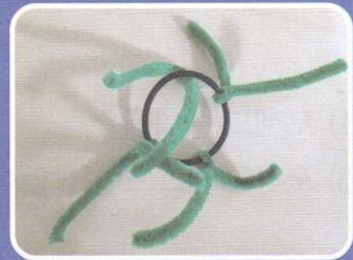
06

どうぶ

ユダヤ人と エステル、モルデカイは ころを あわせて
いっしょに いのりました。 かみさまは けいやくを もっている
わたしたちが ひとつとなって ぜんせかいの 237かこくに ふくいんを
つたえるように ねがっておられます。わたしは だれと いっしょに
せかいふくいんかを するの か かんがえながら したの ワークをしましょう。

じゅんぴするもの | かみコップ、かみのこどもの 7つの しゆくふくの え、モール ゴムひものり
(つぎのページに あります)

モールと ゴムひもで いっしょに コップを つみかさねよう



- 1 つぎのページの 「かみのこどもの 7つの しゆくふく」を きりとして
7つの かみ コップに はります。
2. ゴムひもを まるい かたちにして うえの しゃしんのように 4とうぶんに
して モールを ゴムひもに つけます
3. ゴムひもに つけた モールを ともだちと それぞれ 2つずつ もって
ちからを あわせて ひっばって コップを うごかします
4. かみコップを ひとつずつ かさねて わたしたちが うけた しゆくふくは
なにかを ひとつずつ こえを だして いいましょう。

1



かみのこども
ヨハネ 1:12

2



せいいい みちびき
ヨハネ 14:16~17

3



いのりの こたえ
ヨハネ 16:24

4



サタンを しばる
ルカ 10:19

5



てんのぐんぜい てんしの
たすけ
へブル 1:14

6



てんごくの たみ
—えいえんのいのち
ピリピ 3:20

7



せかいふくいんか
マタイ 28:18~20